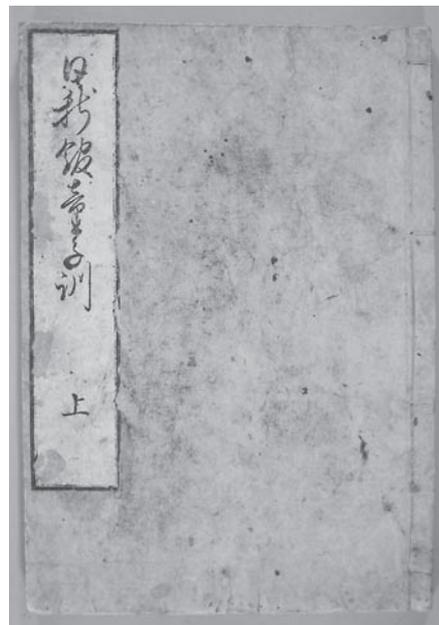
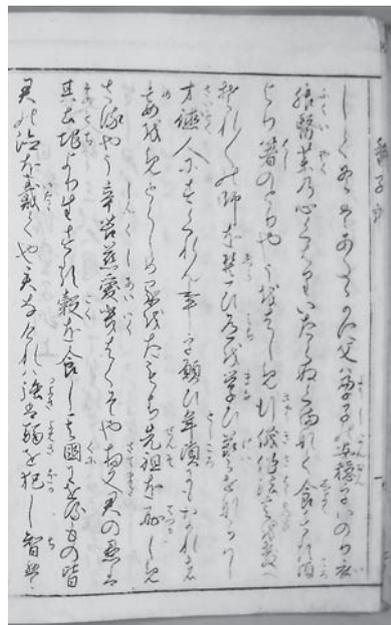
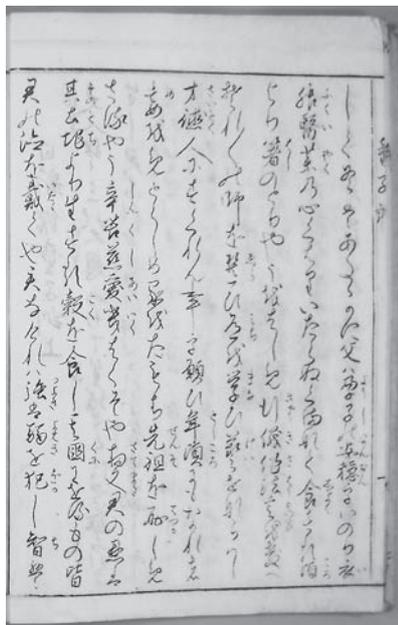


## 新たに所蔵となった資料を紹介します



『日新館童子訓 上・下』(E1106-4)

会津藩第5代藩主松平容頌<sup>かたのぶ</sup>が創設した藩校日新館では、藩士やその子弟が通い学びました。その教育の中心は、容頌が編纂した『日新館童子訓』（全2巻）によるものでした。会津の精神に大きな影響を及ぼした教科書です。

### 『日新館童子訓』上巻 より抜粋要約

#### 〔三大恩のこと〕

人は三つの恩を受けて生きている。父母はこれを生み、藩主はこれを養い、師はこれを教える。父母がいなければ生まれることもなく、藩主がいなければ成長することもできず、師がいなければ物事を知ることができない。

父母の恩は天地に等しく、父母がなくては我が身はない。母のお腹に宿ったときから数ヶ月間は様々な苦勞をかけ、生まれてからは母は濡れた夜具に眠り、子供には乾いた布団で眠らせ、子が眠っているとき母は身じろぎもせず、夏は涼しく冬は暖かにし、父は子供の安寧を祈り、衣服医薬を与える。食する頃には箸の使い方を始め、行儀作法・言葉遣いを教え、先生を選び、様々なことを習わせ、優れた人になることを願う。年頃になれば妻を娶らせ、家を維持し、先祖に恥じないよう愛情を注いで育てる。

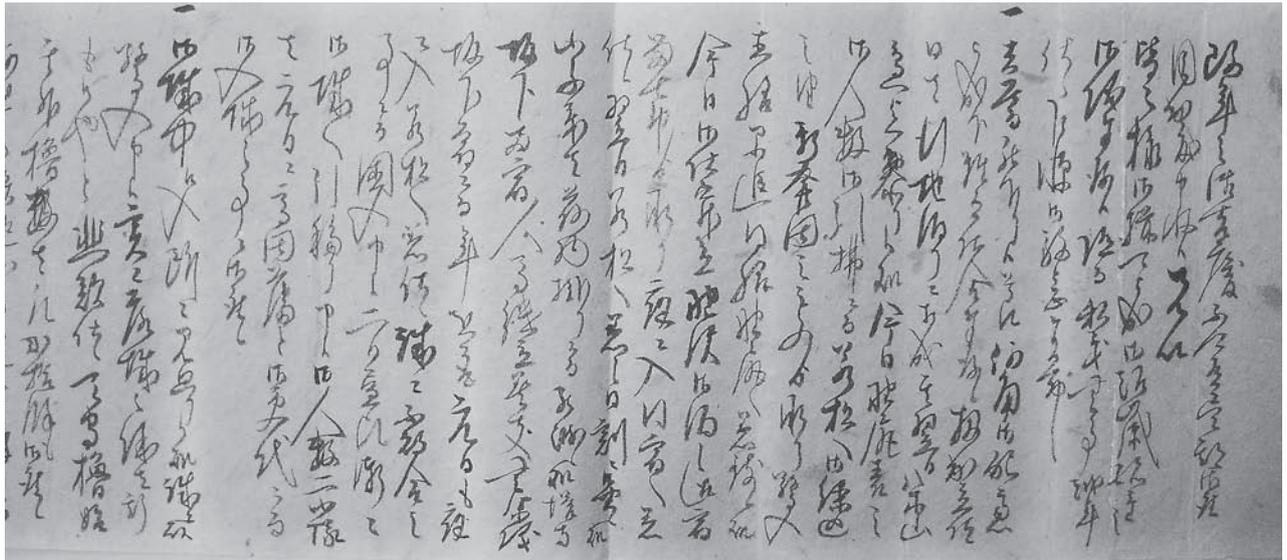
藩主の恩はその土地から得られる穀物を食べさせていただき、その国に住まう者は皆藩主の恩恵を戴いている。藩主がいなければ世が乱れてしまう。先祖より孫子に至るまで藩主の恩恵を受けている。

(後略)

## ◎ 常設展示で紹介した資料を紹介します

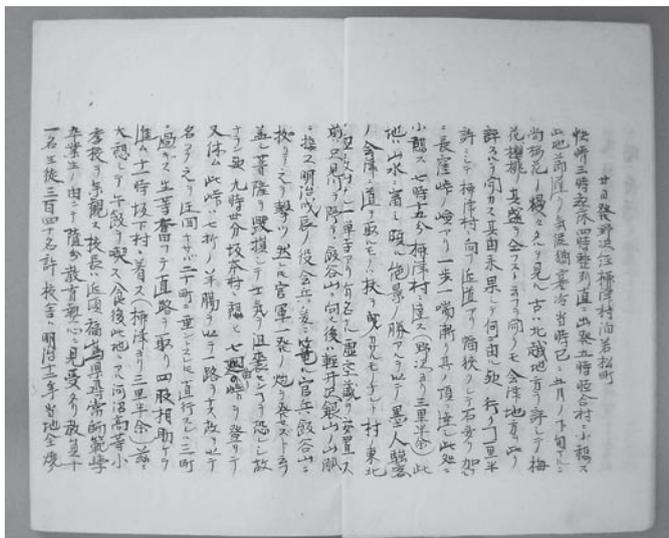
1階エントランスホールでは、1～2か月ごとにテーマを決めて所蔵資料を紹介する常設展示を行っています。今年度展示した資料の中から代表的な資料を紹介します。

- 「幕末の会津を探して～山本八重と会津城～」 (3月19日～5月12日) では、福島県会津地方の幕末の歴史について紹介しました。会津精神に大きな影響を及ぼした『日新館童子訓』や落城した会津城の様子を伝える書状などを展示しました。



旗本池ノ端溝口家代官堀川家文書 (E9916-2023)

- 「明治期の越後と会津の交流」 (5月14日～6月9日) では、明治時代の越後と会津の交流を示す資料を紹介しました。岩越鉄道 (のちの磐越西線) の路線図や鉄道案内、明治21年新潟尋常師範学校生による修学旅行の記録など、人や物の交流を物語る資料を展示しました。



倉茂敏行氏旧蔵近世近代刊行物及び師範学校辞令等 (E1207-5-1)

### 「明治二十有一年修学旅行日誌」

(明治21年)

新潟尋常師範学校で実施した修学旅行を記録したものです。新潟から会津、日光を廻り、東京では教育機関等を参観して、群馬経由で帰校しました。鉄道や汽船等を利用していますが、ほとんどは徒歩での行程でした。訪れた地の風俗や景勝、教育機関での参観内容等を細かく記録しています。

## 平成24年度に閲覧可能になった受贈受託文書

昨年度より、新たに閲覧可能になった受贈受託文書を紹介します。

請求番号	文書名	文書群解説
E0806	越後国各地文書	和本のみ閲覧可能。寛延4年～大正4年、1,762点。江戸時代からの豊富な出版物。
E1007	北蒲原郡本田村医家渡邊家文書	和本のみ閲覧可能。寛永12年～大正5年、476点。医書・往来物が豊富。
E1012	中蒲原郡袋津村医家榎並家旧蔵刊行物等	和本のみ閲覧可能。享保7年～昭和11年、316点。医書・教科書が豊富。
E1106	太政官日誌ほか近世近代刊行物等	寛永20年～昭和16年、839点。慶応4年～明治3年までの太政官日誌がほぼ揃っている。
E1201	「ソ連抑留記」	昭和30年代以降、1点。第2次大戦後のソ連抑留の記録。
E1202	西頸城郡谷根村片山家文書	寛文3年～昭和11年、262点。近世庄屋の自家経営文書。
E1204	明治初期教員養成関係文書等	明治6～38年、25点。明治期の教員養成について知る。
E1205	桂五十郎書状	明治23年、1点。早稲田大学教授桂湖村の学生時代の書状。
E1207	倉茂敏行氏旧蔵近世近代刊行物及び師範学校辞令等	貞享3年～昭和29年、446点。新潟尋常師範学校での講義録など。
E1208	大正期裁縫教科書	大正12年、4点。
E1210	大正11年発行『新潟県人』	大正11年、3点。



北蒲原郡本田村医家渡邊家文書 (E1007)



太政官日誌ほか近世近代刊行物等 (E1106)  
大正期裁縫教科書 (E1208、右下)

## 平成25年度 これからの文書館主催講座のお知らせ

### ○古文書解読講座

2回連続のくずし字の解読を中心とした講座です。時間はいずれも午後1時30分から午後3時30分までの2時間です。

講座名	期日	会場	定員	申込開始日
はじめての古文書講座（秋季）	10月4日・11日（金）	新潟県立文書館 共同研修室	15名	9月13日（金）
古文書初級解読講座（秋季）	10月4日・11日（金）	新潟県立文書館 大研修室	60名	9月13日（金）
古文書中級解読講座（秋季）	11月8日・15日（金）	新潟県立文書館ホール	180名	10月18日（金）

### ○文書館歴史講座

文書館所蔵資料等を用いて特定のテーマに沿った新潟県の歴史などを学ぶ講座です。時間はいずれも午後1時30分から午後3時までの1時間30分です。

講座名	期日	会場	講師	定員	申込開始日
第2回文書館歴史講座	12月14日（土）	新潟県立文書館ホール	浅倉 有子 氏 上越教育大学	180名	9月24日（火）
第3回文書館歴史講座	3月8日（土）	新潟県立文書館ホール	福田 則男 (新潟県立文書館)	180名	2月12日（水）

### ○特別企画展記念講演会

10月22日（火）～11月4日（月）に開催される新潟県立文書館特別企画展と連動する内容の講演会です。

講座名	期日	会場	講師	定員	申込開始日
特別企画展記念講演会	10月26日（土）	新潟県立文書館ホール	池田 雅則 氏 兵庫県立大学	180名	9月24日（火）

### ○文書館基礎講座

文書館所蔵資料を用いて新潟県の歴史を身近に楽しんでいただくためのミニ講座です。時間は、いずれも午後1時30分から午後2時30分の1時間です。

講座名	期日	会場	定員	申込開始日
文書館基礎講座	1月23日、30日、2月6日、13日、20日（木）	新潟県立文書館ホール	180名	1月7日（火）

### 新潟県立文書館特別企画展のお知らせ

新潟県立文書館では、平成25年10月22日（火）～11月4日（月）に、特別企画展「見た、聞いた、動乱の幕末・維新～越後に伝えられた情報～」を開催します。

期 日：平成25年10月22日（火）～11月4日（月）

時 間：午前9時30分～午後5時

※11月4日（月）は午後3時まで

会 場：新潟県立文書館 閲覧室

編集・発行 **新潟県立文書館**

〒950-8602 新潟市中央区女池南3-1-2

TEL.025-284-6011 FAX.025-284-8737

URL.<http://www.archives.pref.niigata.jp/>

E-mail. [archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp](mailto:archives@mail.pref-lib.niigata.niigata.jp)